



## 2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)  
コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
(氏名) 西岡 勇人  
(氏名) 百田 哲史  
TEL 03-6455-2938

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,543	41.8	9		47		120	
2022年12月期第2四半期	1,088	20.4	21		1	95.4	7	

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 235百万円 (289.7%) 2022年12月期第2四半期 60百万円 (128.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	9.24	
2022年12月期第2四半期	0.56	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,102	2,611	80.2
2022年12月期	2,959	2,392	76.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 2,487百万円 2022年12月期 2,252百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		0.00	0.00
2023年12月期		0.00			
2023年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,771	22.1	11		57	205.9	125		9.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年8月10日)公表いたしました「2023年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	13,008,600 株	2022年12月期	13,008,600 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	200 株	2022年12月期	200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	13,008,400 株	2022年12月期2Q	13,008,400 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から各種政策の効果もあって雇用・所得環境が改善し、緩やかに回復しております。しかしながら、海外景気の下振れリスクや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある状況です。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、個人消費に持ち直しの動きがみられるものの、当第2四半期連結累計期間の供給戸数が前年同期比17.4%減（出典「株式会社不動産経済研究所」）となり、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、既存取引先とのさらなる関係強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,543百万円（前年同四半期比41.8%増）、営業利益9百万円（前年同四半期は営業損失21百万円）、経常利益47百万円（前年同四半期比3,108.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益120百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失7百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①ハウスケア事業

ハウスケア事業に関しましては、マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響が比較的少ないアフターメンテナンスに力を入れた結果、売上・利益ともに、比較的順調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるハウスケア事業の経営成績は、売上高353百万円（前年同四半期比45.7%増）、営業利益49百万円（同71.6%増）となりました。

#### ②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、新規現場の獲得等があり、売上は順調でしたが、人件費及び材料費の増加や求人募集費の高騰に伴う経費増があり、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の経営成績は、売上高811百万円（同2.6%減）、営業利益33百万円（同14.2%減）となりました。

#### ③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、想定以上の販売が出来たため、売上利益ともに好調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における総合不動産事業の経営成績は、売上高378百万円（同2,869.3%増）、営業利益22百万円（同2,779.5%増）となりました。

#### ④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売に至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高はありませんでした（前年同四半期の売上高はありませんでした。）。営業損失0百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が221百万円、未収入金が23百万円増加したことなどによる一方、販売用不動産が181百万円、仕掛販売用不動産が152百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は1,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が251百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は3,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ143百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は305百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少いたしました。これは主に未払金が33百万円、その他が14百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は186百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が50百万円増加したことなどによる一方、役員退職慰労引当金が78百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総負債は491百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が115百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益120百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は80.2%（前連結会計年度末は76.1%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ220百万円の増加となり、当第2四半期連結累計期間の資金残高は、1,488百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は304百万円（前年同四半期は200百万円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は83百万円（前年同四半期は62百万円の獲得）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金はありませんでした。（前年同四半期は9百万円の使用）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、本日（2023年8月10日）公表いたしました「2023年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,267,987	1,489,619
受取手形、売掛金及び契約資産	298,101	274,838
有価証券	512	—
販売用不動産	237,170	55,174
仕掛販売用不動産	152,159	—
仕掛品	949	812
原材料及び貯蔵品	4,895	5,109
短期貸付金	3,500	3,500
未収入金	19,787	43,601
その他	114,090	127,342
流動資産合計	2,099,154	1,999,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	90,710	90,710
減価償却累計額及び減損損失累計額	△78,902	△79,415
建物及び構築物（純額）	11,807	11,294
機械装置及び運搬具	3,368	3,368
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,277	△3,322
機械装置及び運搬具（純額）	91	45
工具、器具及び備品	7,849	7,849
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,138	△7,302
工具、器具及び備品（純額）	711	547
土地	3,248	3,248
リース資産	7,274	7,274
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,637	△5,263
リース資産（純額）	2,636	2,010
有形固定資産合計	18,495	17,146
無形固定資産		
その他	403	403
無形固定資産合計	403	403
投資その他の資産		
投資有価証券	742,966	994,063
出資金	681	711
関係会社長期立替金	149,040	149,040
破産更生債権等	140,359	139,757
損害賠償請求権	70,057	70,057
その他	99,456	61,423
貸倒引当金	△361,585	△329,869
投資その他の資産合計	840,976	1,085,184
固定資産合計	859,875	1,102,734
資産合計	2,959,029	3,102,732

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,740	70,046
短期借入金	2,600	2,600
未払金	175,248	141,507
未払法人税等	8,956	4,270
預り金	18,910	19,076
アフターコスト引当金	110	116
その他	82,620	67,742
流動負債合計	356,186	305,359
固定負債		
長期借入金	78,978	81,130
役員退職慰労引当金	78,605	—
退職給付に係る負債	12,894	15,065
繰延税金負債	38,752	89,452
その他	1,306	591
固定負債合計	210,537	186,240
負債合計	566,723	491,599
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,262,878	1,000,000
資本剰余金	795,231	—
利益剰余金	△896,679	1,281,588
自己株式	△290	△290
株主資本合計	2,161,140	2,281,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,887	206,665
その他の包括利益累計額合計	90,887	206,665
新株予約権	140,279	123,169
純資産合計	2,392,306	2,611,132
負債純資産合計	2,959,029	3,102,732

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,088,570	1,543,891
売上原価	773,695	1,145,776
売上総利益	314,875	398,114
販売費及び一般管理費	336,431	388,778
営業利益又は営業損失(△)	△21,555	9,336
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	22,442	42,405
助成金収入	3,500	—
その他	467	3,178
営業外収益合計	26,411	45,585
営業外費用		
支払利息	102	86
為替差損	31	4,340
控除対象外消費税	10	2,596
修理代	3,215	100
その他	7	—
営業外費用合計	3,366	7,123
経常利益	1,489	47,798
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	78,605
新株予約権戻入益	—	17,110
特別利益合計	—	95,715
特別損失		
貸倒引当金繰入額	2,182	2,182
上場契約違約金	—	20,000
その他	—	0
特別損失合計	2,182	22,182
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△692	121,331
法人税、住民税及び事業税	6,382	1,573
法人税等調整額	247	△399
法人税等合計	6,630	1,173
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,322	120,157
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,322	120,157

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,322	120,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,869	115,778
その他の包括利益合計	67,869	115,778
四半期包括利益	60,546	235,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,546	235,936
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△692	121,331
減価償却費	1,373	1,349
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,078	△31,716
売上値引等引当金の増減額(△は減少)	△328	—
アフターコスト引当金の増減額(△は減少)	△34	5
契約負債の増減額(△は減少)	17,155	△6,470
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△162,161	△78,605
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△199	2,171
受取利息及び受取配当金	△22,443	△42,406
支払利息	102	86
新株予約権戻入益	—	△17,110
売上債権の増減額(△は増加)	2,157	23,262
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△2,078	601
棚卸資産の増減額(△は増加)	△768	△76
販売用不動産の増減額(△は増加)	—	181,996
仕掛販売用不動産の増減額(△は増加)	—	152,159
前払費用の増減額(△は増加)	△1,355	△8,387
未収入金の増減額(△は増加)	21,004	7,301
預け金の増減額(△は増加)	△805	447
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,807	2,305
未払金の増減額(△は減少)	△18,161	△33,741
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,403	△4,613
預り金の増減額(△は減少)	△6,416	166
その他	△31,331	△5,717
小計	△214,117	264,338
利息及び配当金の受取額	22,443	42,406
利息の支払額	△37	△21
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△8,539	△2,395
営業活動によるキャッシュ・フロー	△200,251	304,328
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,200	△1,200
有価証券の増減額(△は増加)	109,079	512
投資有価証券の取得による支出	△283,968	△84,219
敷金及び保証金の差入による支出	—	△637
敷金及び保証金の回収による収入	10,620	1,707
貸付金の回収による収入	228,000	—
その他	△30	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	62,501	△83,896
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己新株予約権の取得による支出	△9,321	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,321	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△147,070	220,432
現金及び現金同等物の期首残高	1,547,232	1,267,787
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,400,161	1,488,219

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年3月23日開催の定時株主総会の決議により、2023年5月1日付で会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づく資本金の額、資本準備金の額の減少並びに会社法第452条の規定に基づく剰余金の処分を行い、欠損填補を行いました。

この結果、資本金が1,262,878千円、資本準備金が795,231千円、別途積立金が110,000千円減少し、繰越利益剰余金が2,168,110千円増加しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収 益	242,691	833,125	12,752	1,088,570	—	1,088,570	—	1,088,570
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	242,691	833,125	12,752	1,088,570	—	1,088,570	—	1,088,570
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	242,691	833,125	12,752	1,088,570	—	1,088,570	—	1,088,570
セグメント利益 又は損失(△)	28,889	38,538	787	68,215	△467	67,748	△89,304	△21,555

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△89,304千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,304千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収益	353,592	811,625	378,673	1,543,891	—	1,543,891	—	1,543,891
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	353,592	811,625	378,673	1,543,891	—	1,543,891	—	1,543,891
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	353,592	811,625	378,673	1,543,891	—	1,543,891	—	1,543,891
セグメント利益 又は損失 (△)	49,573	33,081	22,671	105,326	△247	105,079	△95,742	9,336

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△95,742千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△95,742千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。